



『サフィーの天使』 ヒラリー・マックイ／作
富永 星／訳 小峰書店刊 請求記号 (Y 933 マ)

自由奔放な家族と暮らすサフラン(サフィー)は、数年前に自分が両親の実の子どもではないと知って以来、どことなく疎外感を抱いて過ごしていた。

大好きなおじいちゃんが自分に遺してくれた「石の天使」を見つけることが自分のルーツを知る手がかりになる、と確信したサフィーは、友達や兄弟の協力を得ながらドタバタの大捜索を繰り広げる。果たして「石の天使」は見つかるのか？

個性的な登場人物がこの本の最大の魅力。
中でも姉のキャティーには注目！

♪ まだまだあります！家族が登場する本♪

| 書名 | 著者 | 出版社 | 請求記号 |
|---------------|-----------------|--------|--------|
| 大きな森の小さな家 | ローラ・インガルス・ワイルダー | 福音館書店 | Y933 ワ |
| カルテット！ | 鬼塚 忠 | 河出書房新社 | Y913 オ |
| キッチン | 吉本 ばなな | 新潮社 | Y913 ヨ |
| ステップファザー・ステップ | 宮部 みゆき | 講談社 | Y913 ミ |
| 父の詫び状 | 向田 邦子 | 文藝春秋 | Y914 ム |
| 東京バンドワゴン | 小路 幸也 | 集英社 | Y913 シ |

☆出版社の許諾を得て表紙画像を掲載しています



2016年2月発行



〒950-0084 新潟市中央区明石2-1-10
電話 025-246-7700
【パソコン用】 <http://www.niigatacitylib.jp>
※スマホサイトのURLは上記パソコンサイトと同じです
【携帯電話用】 <https://opac.niigatacitylib.jp/k>

<PC・スマホ用
QRコード>



Leaf (リーフ)

～ティーンズブックリスト No.13～

家族の本

It's my family



“家族” — 一緒にいると楽しかったり、ホッとしたり、身近にいるからこそイラッとしたり、時にはケンカしてしまう…。

父・母・きょうだい・祖父・祖母…今回は、家族が登場する本を紹介します。

『カフェ・デ・キリコ』

佐藤 まどか／著 講談社刊 請求記号 (Y 913 サ)



霧子はイタリア人の父と日本人の母を持つハーフ。ある日、突然、父とイタリア人の祖父が亡くなり、母と共に父の故郷イタリア・ミラノへ向かう。

その地で、母と一緒に内装やケーキ開発奮闘の末に開店したギャラリーカフェには、作家や風変わりな老人など様々な客が来店するように。

父が亡くなった日の行動を不審に思い、母に対して複雑な思いを抱える霧子。一方、母も父の死に大きく傷ついていた。そんな時、衝撃的な事実が明らかとなり…。

ミラノの風景や暮らしぶりが生き生きと描かれている。
隣家のバジリコ兄弟との恋(!?)にもドキドキ。

『コービーの海』 ベン・マイケルセン／作
代田 亜香子／訳 鈴木出版刊 請求記号 (Y 933 マ)



8歳の時に交通事故に遭い、右足を切断したコービー。義足のせいでクラスから孤立したことで心を閉ざし、両親ともぎくしゃくしてしまう。

ある日、海で網にかかったクジラの親子を救ったコービー。喜びもつかの間、船の購入時のローンやコービーの怪我で喧嘩が絶えない両親は、ついには別居することに。果たして、コービーたち家族はどうなってしまうのか！？

コービーと二頭のクジラの間生まれた信頼関係が心に響く。



『ハブテトル ハブテラン』
中島 京子／著 ポプラ社刊 請求記号 (Y 913 ナ)

学校に行けなくなってしまう小学5年生のダイスケ。2学期だけ母親の故郷に「リュウガク」することに。

おじいちゃんおばあちゃんをはじめ、クラスメイト、そして近所に住むハセガワさんなど、個性的な人たちに最初は戸惑うが、あたたかい人柄に触れるうち、次第に張りつめていた心がほぐれていく。

「ハブテトル」は、すわっている、むくれているという意味の備後弁。
「ハブテラン」は否定形。文章全体を包む方言も楽しい。

『リリース』 草野 たき／著
ポプラ社刊 請求記号 (Y 913 ク)



父さんの生まれ変わりだから、と跡を継いで同じ医者になることを期待されている中学2年生の明良。でも彼にはバスケットボールのNBL選手になるという夢がある。

友達、部活、将来、周囲の期待、そして家族…明良がそれらの悩みをリリース(=解放)していくまでの成長の物語。

いろいろなことに悩む明良に、自分を重ねながら読む人も多いのでは。



『迷子のアリたち』 ジェニー・ヴァレンタイン／著
田中 亜希子／訳 小学館刊 請求記号 (Y 933 バ)

サム、17歳。みんなの前から消えてしまいたくて、ひとりになりたくて、田舎からロンドンに家出てきた。ところが、暮らし始めたアパートは変な住人ばかり。その中に、母親と二人で暮らすボヘミアという女の子がいた。彼女と関わるうち、サムの心に変化が起きて…。

登場人物が細かく描写されているので、読んでいて、まるで自分もアパートにいるように感じるかも。